

八重坂争議発生してヨリ已ニ半月ニオツタメ今ニ至ルニ工場主ハ世々固ツテ居テ会フテケレ
イ工場主ハ不景氣ノ爲メ工場ヲ閉鎖シタノデハナイ我々組合ニ入ツタヲ恐イカラカ故ハ組合ヲ
叩キ潰ソウトシテ居ルノガ故等ニ一ノト結束ヲカケテ一日又早クノ要ヲ通ラン事ヲ願フ
テ居ルトテ会ノ絆エカラ

以上

別紙ニ

麻布方面の

全工場労働者諸君に檄す!!

——資本家の攻勢に備へよ!——

麻布古川橋附近は昔より機械工場、ヨリ計店、しかも洋服製作所、日産電氣など、日夜
夫業のやうな工場には古くより組合がおつて資本家と労働者とが、立場をはきりとしてゐる。工場主
の不当な圧迫に対しには、すぐ団体的に戦ひ、組合をもつてゐる。割合に労働条件が、ついでに全
無法な労働者いじめをしない。だが古川附近にある小さな町工場、五十人位使つてゐる工場、大
きくても十人、五十人位の職工しかゐない工場では、十五六十位の時分、徒勞と大く十何人
も同じ工場を働いてゐる人々が多い。そして親方と職人との関係が昔の封建的な温情主義のま
ゝであつて労働者がある不衛生なゴミ、く、ととある薄給の名ばかりの工場の中でこそ使はれてゐる
のだ。そして人間としての一切の自由を確保に縛られて働いても、浮揚水などがある。然しそ
れを満足としてみらる時は、一旦、不景氣が来ると昔より十何年も働いて、モウケさせて
やつた事など、元賃銀値下げた、減首た、工場閉鎖だ、と遠慮なく労働者を苦しめる。
二つした事を、諸君は、どう考へてゐるのか? 労働者と資本家は、どう仲よくしようとして、も探
者と探られる者とは、ハンネリと立場が違つてゐるのだ。いさその場になつて、ミラバタしたつて追ひ
付かれないのだ。